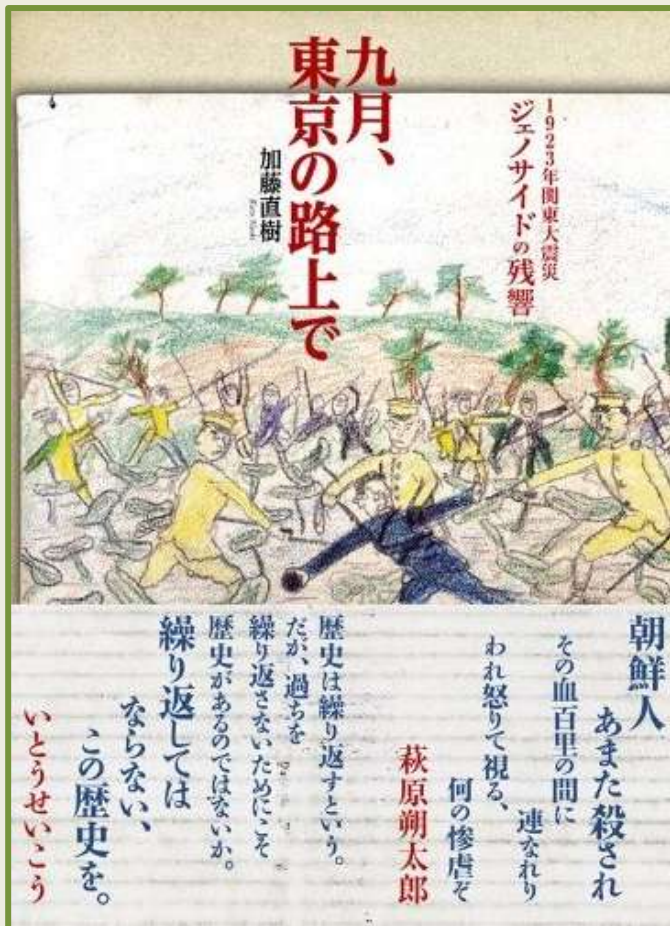


「ヘイトスピーチと 関東大震災」

日時：7月7日(月)5時限目 16:20～17:50
場所：和泉キャンパス 第一校舎502教室(5階)
講師：加藤 直樹氏



《講師プロフィール》

フリーライター、フリー編集者。

著作として『九月、東京の路上で—1923年関東大震災、ジェノサイドの残響』(ころから)。

地震や巨大大事故など、突然の災害に見舞われた時、都市の群衆はどのような反応を見せることになるのか—九十年前の一九二三年の九月の東京では、パニックにより引き起こされた流言蜚語の拡散から、多くの朝鮮人・中国人が「自警団」によって虐殺される事件が起きた。この関東大震災という歴史的事件と、そして今現在、同時代的に行われている東京の路上でのヘイトスピーチをどのような脈絡のもとに考えればよいのか—それにはまず、加藤直樹氏の『九月、東京の路上で』を読んでみるべきだろう。本書が告げているのは、歴史の現場を「感じる力」を取り戻すことの必要性である。本講義は、この著作をめぐる、直接著者の声を聴いてみる企画である。みなさま是非ご参加を。

コーディネーター：丸川 哲史教授(政治経済学部)

予約不要：学部生の受講可

学外の方も受講可能です。事前にお電話ください。

教養デザイン研究科 TEL:03-5300-1529